

チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドラインについて

趣旨・目的

本ガイドライン（H27.12.7付け基発1207第3号別添、R2.1.31改正）は、**着用すべき保護具・保護衣**や**適切な伐木等作業方法**を示すことにより、労働安全衛生法令や関係通達と相まって、伐木等作業における労働災害の防止に資することを目的としている。

【概要】

① 伐木等作業における保護具等の選定及び着用

下肢の切創防止用保護衣（則485①）（JISに適合する防護ズボン等）、長袖の上衣、防振・防寒に役立つ厚手の手袋、安全靴その他適当な履物、**保護帽（則484①）**・保護眼鏡・耳栓 等（※作業性が高く視認性の高い目立つ色合いのものを選定）

② チェーンソーの選定、取扱い方法

③ 事前準備等（事前調査・記録、リスクアセスメント、作業計画の作成、作業指揮者の選任、教育）

④ 伐木の作業における安全の確保

つるがらみの状態等の確認及び**取除き（則477①二）**、伐倒方向の確認（図1参照）、**伐倒者以外の労働者の立入禁止（則481②）**（図2参照）、**適切な受け口・追い口・つるの作成（則477①三）**（図3参照） 等

⑤ 造材作業における安全の確保

木材の転落防止（則480①）及び**立入禁止（則481①）**、同一の原木の玉切り禁止 等

⑥ かかり木の処理の作業における安全の確保

かかり木処理についての留意事項を示すとともに、禁止事項として以下を記載

かかられている木の伐倒（則478②）

浴びせ倒し（則478②）

元玉切り

肩担ぎ

かかっている木の枝切り



図1 伐倒方向

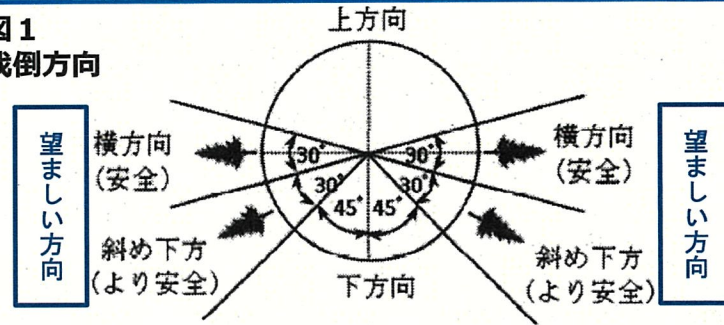


図2 立入禁止範囲

②半径が①樹高の2倍の距離の円（立入禁止の範囲）

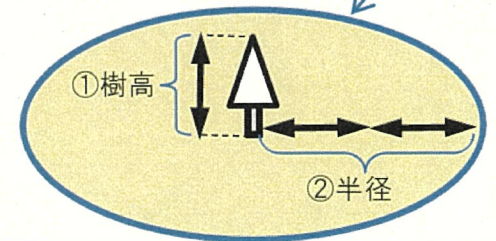
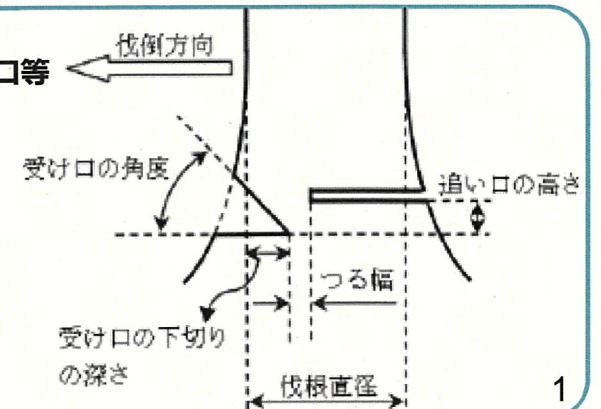


図3 受け口、追い口等



※ 赤字下線は労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）において規定されている事項